

1 どうしたら若い人たちが選挙に行こうと思うようになるだろう?

若い人たちがもつと政治に関心を持ってもらい、選挙に行こう!と思ってもらうための方法について、子どもたちの考えを募集しました。一番多かったのは、「選挙の大切さを分かりやすく呼びかける」といった提案。選挙が自分の未来に関わるものだと思えるようになること、若者も選挙に行くのではといった意見が多くありました。また、ネットでの投票や投票できる場所を増やすといった、気軽に投票できる環境を整えることで投票が増えるのでは、といった意見も多くありました。そのほかには、投票所をお祭りのようにする、コンサートを開くといった、選挙十楽しめるものを組み合わせた行ききたくなるのでは、という子どもならではの意見もありました。

二次元コードを活用して読み取ったら、その議員の考え方が出てくる、まとめサイトがあると投票しやすくなると思う。

ほかにはこんな意見



投票しないことによるデメリットを、テレビコマーシャルやSNSなどで、わかりやすく広める。

選挙を流行らせる!

インフルエンサーが選挙紹介動画を作ったら、少しは興味を持ってくれるんじゃないかなと思う。

政治系アイドルなど、若者が興味をもつようなものをつくる。

「選挙は難しいもの」、「堅苦しいもの」というイメージがあるので、どのような手順で行うのか事前にかかるようにすれば、自分にもできるかもと思い、投票に行く人が多くなると思う。

選挙にいったことを自慢できるようにする。

#選挙行ったよ の投稿に、有名人から「いいね」がもらえる!

子どもの提案・意見募集ハガキ

子どもたちの提案・意見募集ハガキは、子どもたちから市政やまちづくりに関する提案や意見を広く返信用ハガキにより募集する取組です。今年度からは、より意見を出しやすいよう、ハガキに加えて、オンライン回答も開始しました。今回は「選挙」についてをテーマに、子どもたちから提案や意見を募集したところ、合計274通の意見が届きました。たくさんのご意見ありがとうございました。ここではみなさんから届いた意見やアイデアの一部を紹介します!

テーマ
選挙
について

「政治」と聞くと難しく感じるけど、自分たちの生活につながっているって考えると、身近に感じるよね。



だれが選挙に参加できるの?
満18歳以上の日本国民
はすべて平等に選挙で投票できる権利、「選挙権」を得るよ。

選挙ってなに?

私たちの思いを実現させ、よりよい社会にしていけるためには、私たちの意見を実現する代表者が必ず必要です。その代表者を決めるのが「選挙」。そして代表者同士が話し合うなどの形で行われるのが「政治」です。私たちは選挙を通じて政治に参加することになります。

★札幌市の考え方★ (札幌市選挙管理委員会)

私たちの生活や社会をよくするための代表者を決めるのが「選挙」で、投票は私たちが政治に参加するための大事な権利です。しかし、近年、若い人たちの投票率が低いことや少子高齢化などから、若い人たちの声が政治に届きづらくなっています。若い人たちがより積極的に投票に行き、政治に参加してもらえるよう、将来、有権者となるみなさんにご意見をいただきました。さまざまな意見をいただきましたことに感謝します。

最後に、18歳未満のみなさんはまだ投票ができませんが、私たちの未来は一人ひとりが投じる一票によって決まるといふことを心に留めていただき、18歳になって投票ができるようになったら、忘れずに投票してください。

「選挙」の仕組み



この通信では、「子どもの権利」に関するさまざまな取組をお知らせします。

2 子どもたちに選挙の大切さを知ってもらうためにできること

「自分たちの未来は自分で決める」ということをわかってもらう。

子どもたちに、自分の意見を言うことは大切だと伝え続けられれば、選挙の大切さにも気づくのでは。

選挙体験をし、それを実際に反映させて、こんなことができる!すごい!と興味を持ってもらう。

代表によって、私たちの生活が大きく変わるので、まずは選挙で決める代表の大切さを知ってもらうことが大事だと思う。

選挙権が与えられるまでの歴史を伝えたいと思う。

未来の有権者である子どもたちに選挙の大切さをもっと知ってもらうためのアイデアを子どもたちから募集。一番多かったのは、選挙の授業や勉強会を開催するという意見で、政治家や有名人が教えるといった意見も。続いて、模擬選挙や選挙体験で、子どもたちに身近な給食のメニューやキャラクター投票など、選挙を体験し、自分の意見が活かされることを知ってもらうという意見がありました。また、アニメや漫画で伝える、といった子どもたちが興味を持ちやすい方法がよいという提案もありました。そのほか、選挙がない場合の社会を伝える、投票が多い場合と少ない場合の影響を伝えるといったものや、投票率の高い海外では子どもの意見表明機会が多いという特徴をあげて、「子どもの意見を反映させるような機会を増やす」とよいと思うという意見もありました。たくさんのご提案・意見ありがとうございました。



子どもにとって大切な権利
*安心して生きる
*自分らしく生きる
*豊かに育つ
*参加する

札幌市子ども未来局子どもの権利推進課
〒060-0051
札幌市中央区南1条東1丁目
大通バスセンタービル1号館3階
電話:211-2942 FAX:211-2943
メール:kodomo.kenri@city.sapporo.jp



▲委員会の様子



▲市長報告会の様子



令和5年度

子ども議会活動報告